

活動報告書(2016 . 4)

皆様の温かいご支援によって、2016年2月11日から保育園に通う6歳以下の子どもにリクニパーラの給食を提供する事が出来ています。皆様に心より感謝するとともに、NPO 法人聖母の4月の活動をご報告いたします。

給食支援活動を開始してからまだ日が浅いので、給食支援活動を行うにあたり、いくつか調整をとっていかねばならない点もありましたが、さらに給食支援活動対象保育園を増加できました。4月は、ピーター・ムタリカ大統領が、マラウイに食糧が不足していると非常事態を発表した月としても記憶に残ります。マラウイの5歳以下の子供たちのほぼ半分は、栄養失調だそうです。引き続き、マラウイの抱えている問題と現状を1人でも多くの方に知って頂き、私達の小さな一歩が世界を変える力へと繋がっていく事を願います。



4月の概要

青年海外協力協会(JOCA)さんが学校給食栄養改善プロジェクトを行っていたムジンバ県カゾンバ小学校を、せいぼマラウイが4月から引き継ぎを開始。

給食支援活動対象保育園として、チロモニ村にある6つの保育園が追加され、合計で867人の子どもに給食を届ける事ができました。そして、一番重要なのは、1900キロ以上のリクニパーラが届けられたという事でした。また、せいぼマラウイに2人の新しいスタッフがデータ収集と活動モニタリングの即戦力として加わりました。

届けられたもの

給食支援活動を2月11日に開始してから、皆様からの温かいご寄付によって、各保育園に以下の給食用調理用品及び食器類と、1900キロ以上のリクニパーラが届けられたました。

- 調理釜(22個)一約258,852円
- お皿(1030枚)一約25,750円
- コップ(959カップ)一約17,262円
- 手洗い用バケツ(44個)一約12,276円
- 食器洗い用バケツ(50個)一約10,450円
- スプーン(925個)一約114,700円



- 給食用混ぜ棒(32本)一約5,952円
- 桶(22個)一約2,728円
- 配給用ポット(44個)一約1,364円

※1円→6.4 マラウイクワチャ



保育園グループ3

保育園グループ3としての給食支援は、下記6カ所の保育園の合計226人の子どもたちに提供が開始された。

- ティリトンセ(Tilitonse CBCC)
- グレース(Grace)
- フリーダム(Freedom)
- デドマ(Dedoma)
- リトルエンジェルス(Little Angels)
- リンビカニ(Limbikani CBCC)

せいぼマラウイが給食支援の提供をする際の概説を保育園にし、保育園側は子どもの在籍登録と成長を観察する事を認めるというMOU(覚書)に、すべての保育園が署名をしました。その後、MOU(覚書)を交わした保育園は、薪、給食用調理用品及び食器類、50リットルのロケット・ストーブ、パーラが提供されました。

MOU(覚書)を交わした保育園の先生から嬉しいメッセージを頂きました。

リンビカニの Mamtchichi さんからのメッセージです。

「私達は、プログラムが我々と連絡をとったので非常に満足です。始まってから1か月目ですが、すでに在籍登録を保育園にする為に沢山の子どもが来ています。」

リトルエンジェルスの Joice Phiri さんからのメッセージです。

「食べ物もない貧しい家庭に育っている子どもが給食を食べる為に保育園に来るようになった姿を見る事ができて、本当に給食支援活動は素晴らしいと思っています。現在、せいぼのおかげでそのような子どもも、栄養価の高い給食を食べる事が出来ています。」

補助金支援

4月に、地元の教会の代表24人による補助金支援についての会議が行われました。せいぼマラウイが、給食支援活動を始めると同時に、在籍園児以外に栄養不良の子どもを何名受け入れる事が可能であるのかを保育園に確認し、各保育園に栄養不良の子どもを無償で入園させてもらえる契約も各保育園と交わしている。無償で保育園に通える子どもの基準としては、子どもの栄養不良や栄養失調、家族の健康状態、収入等が検討される。

今回、アシラ保育園に受け入れられた3人の子どものうち、2人をご紹介します。また、アシラ保育園から感謝のメッセージが届きました。

「すでに3人の子どもを受け入れる事が出来ました。受け入れる事ができたのは、皆様のお蔭です。ありがとうございました！」

ファティマちゃん Fatima

(ポルトガル語で神殿という意味の名前)



ンパツオ君 Mphatso

(マラウイの言葉で贈り物という意味の名前)



改善

安全な給食を保育園に提供する為に改善すべき点であった、保管用のパックの件で、パーラを提供している会社へのサポートを私達は要請しました。

「リクニパーラ」(地元で知られている穀物の粉のお粥で、トウモロコシ粉 65%、大豆粉 25%、砂糖 10%を原料とし、ビタミン A と鉄分も補う事ができる)としてマラウイで知られている食物は、当初 20Kg のバッグの中に届けられたが、現在は、それぞれ 5 キロに分けられた、ポリエチレン・プラスチック・パックのより小さな袋で届けられます。この改善は、保育園の先生をはじめ、調理人、せいぼマラウイが「パーラ」の品質を確認する事や、どの位の子どもが保育園に通っているかを確認する事にも繋がります。また、食物プロバイダーによる指導のおかげで、使用した食料パックを保存する時には、汚染が広がる危険性を無くす為に、各保育園で使用するバケツを提供しました。

カゾンバ小学校の引き継ぎ

青年海外協力協会(JOCA)さんが学校給食栄養改善プロジェクトを行っていたムジンバ県カゾンバ小学校を、せいぼマラウイが引き継いでいます。

4 月 27 日の午前中(マラウイ時間)に引き継ぎ式典が開催され、式典には、教育省のビクトリア・カチグンダさんも出席し、マラウイの小学校の40%にしか学校給食が提供されていないのが現状ですとスピーチの中で語られました。

小学校名:ムジンバ県カゾンバ小学校

生徒数:800 人程在籍

給食内容:2013 年 10 月より青年海外協力協会(JOCA)さんが、小学校の就学

率向上と子どもたちの栄養改善を目標に掲げた「学校給食栄養改善プロジェクト」をムジンバ県カゾンバ小学校で実施。「マラウイ学校給食プロジェクト」では、岩手県遠野市で収穫されたお米が、マラウイの子どもたちの給食になっています。岩手県遠野市の米粉を7月末まで小学校の給食として使い、その後は、せいぼマラウイが保育園の子どもたちに提供している給食(リクニパーラ)を配達していきます。



We thank you all so very much for caring for the children of Malawi!